

保護者様

令和7年4月8日  
名古屋市立児玉小学校長  
高井圭子



## 児玉小学校学校教育方針について

～子どもが自律して学び、保護者の期待に応えられる学校～

日頃は、本校の学校教育活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

昨年度に引き続き、学校長の高井圭子と申します。本年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

年度初めに当たり、学校教育方針をお伝えさせていただきます。今年度の学校教育目標は、「子どもが自律して学び、保護者の期待に応えられる学校」（自ら試し 学びの楽しさを味わい笑顔あふれるこだまっ子の育成）とします。

そこで、以下の4点を重点に取り組みます。

**一つ目は、教科担任制の推進**です。

国からは、「義務教育9年間を見通した教科担任制の在り方」について打ち出され、令和4年度から、全国の小学校で高学年での「教科担任制」が導入されました。個々の子どもたちの学習状況を把握し、教科指導の専門性をもった教師によるきめ細かな指導を可能とする教科担任制の導入により、授業の質の向上を図り、児童一人一人の学習内容の理解度・定着度の向上と学びの高度化を図ることができます。

本校でも複数学年で、「外国語科」「音楽科」「理科」で実施していましたが、今年度から全学年で教科担任制を推進していきたいと考えます。教師の専門性や得意分野を生かした教科指導を進めることで、子どもたちにとってわかる楽しい授業につなげたいと思います。そこで、今年度は、全学年3教科以上で教科担任制を実施していきます。

**二つ目は、高学年における学年担任制の導入**です。

高学年期の子どもたちには、学習・生活指導の格差をより少なくし、学年内で均一に指導していくことが必要です。また、子どもたちが求める支援、困り感・悩みの解消、いじめ・問題行動等に効果的に対応することが大切となります。そこで、学年内を均一に指導し、学年全体を複数の教師が担当することで、より多くの教師による見守り、見取りができ、必要な支援に、最適な教師が対応することができる学年担任制を高学年である4年生以上で実施します。学年担任制により、①多面的な児童理解と柔軟な教育相談体制の構築、②小・中学校間のスムーズな接続ができます。子どもたちは、自分の考えに基づいた行動ができるようになり、自立心を育むことができると考えます。

具体的には教師二人で学年全体（2学級）を受けもち、前期と後期で学級担当の教師が入れ替わります。授業は二人の学年担任と専科の教員による教科担任制です。

4年生～6年生対象（1～3年生、特別支援学級を除く）

前期（4月8日～10月10日）

後期（10月14日～3月24日）

梅学級 担当；A教諭

梅学級 担当；B教諭

桜学級 担当；B教諭

桜学級 担当；A教諭



三つ目は、ナゴヤ学びのコンパスの教育理念に則った授業および行事の実施です。

名古屋市では、昨年度よりナゴヤ学びのコンパスが開始されました。

本校でも、これまでの学びの在り方をよりよくし、新しい学びの実現に向け取り組み始めました。

ナゴヤ学びのコンパスのねらいは、**子ども中心の学び**を推進することで、**自律して学び続ける子**を育成し、全ての子どもが自分らしく、幸せに生きていくことができることを目指しています。

**自律して学び続ける**とは、興味・関心があることや学ぶ必要があると考えたことを**自己選択**、**自己決定**しながら、学び続けることを言います。

**他者に依存せず行動する自立**とは違い、**自律**して学ぶ子は自らの学びに目標を設定することができ、学びへの価値や意義を見いだせる子です。ひとりで学ぶことも、仲間と学ぶことも尊重されます。子どもたちが必要に応じて、仲間や教師の力を借りたり、人に力を貸したりする「ゆるやかな協働性」を大切にします。

そこで、授業はもちろんのこと学校行事もナゴヤ学びのコンパスの教育理念に則って実施していきます。その一つは、スポーツフェスティバル（運動会からの名称変更）です。スポーツフェスティバルの内容は子ども中心の学びとなるよう、子どもたち自身が種目を決定したり、ルールを工夫したりして子ども中心の体育的行事を展開します。ご期待ください。

4つ目は、子どもたちにとって、安心で安全な学校づくりを行います。

子どもたちにとって安全な学校、すなわち、楽しく教育を受けることができる環境を充実させていきたいと思えます。

通常の学級に在籍している児童が、個々の特性に応じたよりきめ細やかな指導を受けることができるように、今年度より、通級指導教室を新設しました。通級指導教室名は「にじルーム」に決まりました。通級指導は随時受け付けますので、いつでもご相談ください。

その他、児玉小学校で大切に守り育ててきたお茶の木（児玉茶）の管理です。近年課題となっているお茶の木の枯渇を受け、昨年度は、樹勢回復に向け、樹木医さんによる修繕を行いました。また、PTA会長の山本一統様はじめ茶専門店「妙香園」代表取締役田中良知様からお茶の木の苗をご寄付していただき、植樹をしました。引き続き管理をしっかりとしながら、これまで受け継がれてきた伝統のお茶を守っていきます。さらには、子どもたちの愛校心を育むため、創立記念日には母校の創立を祝い、感謝する気持ちをもつ行事に新たに取り組む予定です。

保護者の皆様には、今後とも、本校の教育活動に一層のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年(令和7年)3月18日(火曜日)

(第3種郵便物認可)



#### 校内で栽培80年超

#### 西区・児玉小児童 卒業前に植樹

茶の苗を植える6年生児玉たち。西区の児玉小で

80年以上前から校内で茶を栽培している児玉小(西区)のある「遠い手拍からはる」と移して植えた茶の花が記念として茶の苗を新たに植えた。衰弱した老木が増え、茶畑の完全復活と伝統の継承を願って作業した。

この日は、卒業式を19日に控えた児童54人計20平方メートルの畑に茶を植えた。スコップを使って、苗に優しく土をかきつけた。茶が収穫できるようになるまで5年ほどかかるという、大前英樹さん(12)は「よく育て、おいしいお茶になっほしい」と話した。

山本さんは「茶畑がある学校は珍しい。卒業生として伝統を絶やさないように伝えてほしい」と力を込めた。(大野沙羅)

### 伝統のお茶 未来で芽吹け

つた卒業生で山本建材(西区)の山本一統代表取締役(47)が、茶専門店「妙香園」(熱田区)の田中良知代表取締役

